

教育センターだより

第177号

倉敷教育センター

令和6年9月

TEL 086-454-0400

FAX 086-454-0403

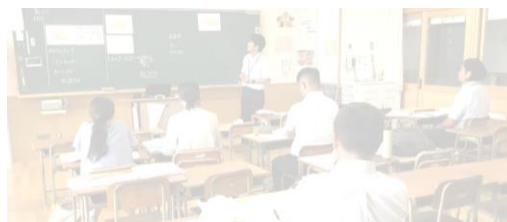
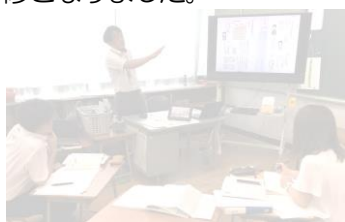
☆夏の教職員研修☆

倉敷教育センターでは、7・8月も教職員研修を実施しています。先生方はさらなるスキルアップを目指して、夏も熱心に研修に取り組んでいます。今回は経験年数別研修の他に、職能研修や課題別研修の様子も御紹介します。



中堅教諭資質向上研修 & 2年目研修

「教科指導」研修では、市内のベテランの先生方に講師として御助言をいただきながら、2学期に実施する授業の学習指導案検討を行いました。2年目研修の先生方も参加して、中堅教員と初任期教員と一緒に授業力を高めていく研修となりました。



<中堅研受講者の感想より>

- 基本的な学習指導案の書き方をはじめ、国語科の指導における本質的なことを教えていただきました。特に勉強になったことは、子どもと教材を出合わせる際の心の耕し方です。子どもが主体的に「読みたい!」と思えるよう、言語活動を工夫して必要感を実感させたり、筆者について詳しく知るなど基礎的な事項を大切に扱ったりすることが重要だと分かりました。何より教師自身が学習指導要領に則した学習目標を明確にし、教材研究をすることで学習を楽しまなければならないと感じました。
- 日頃は新たに教材研究にかけられる時間があまりありませんが、この度の研修で、学習指導要領を再度読み込むきっかけにもなり、初心を思い出しました。講師の先生からの御指導で、授業で育てたい生徒像を明確にし、教材研究・授業研究を継続することの重要性が分かりました。

<2年目研受講者の感想より>

- 中堅研の3名の先生方の模擬授業に参加し、子どもが楽しんで学習するための、声掛けの仕方や板書の工夫、様々な小道具の準備を見せていただきました。また、授業の中で子どもに任せる部分を設定することも学びました。このような貴重な経験を通して、私が悩んでいた授業の進め方についての方向性が見つかりました。学んだことをできそうなところから真似をしてレベルアップしていきたいです。



16年目研修

講義・演習「学校組織マネジメント」

自己の課題解決や意識改革に取り組むとともに、学校経営に積極的に参画できる力の向上を目指して研修を実施しています。

<受講者の感想より>

- 学校組織マネジメントは、様々な視点で考えていく必要があることが具体的に分かりました。全員が同じ方向を向いていくために、話ができる関係性を築いたり、個々の良さを認めたりしていくことを改めて認識できました。さらに、発言しやすい環境をつくっていききたいです。
- 学校教育目標を全ての教員が理解しているか、横の連携は取れているかと問われたとき、ドキッとしました。大規模校であり、なかなか統一ができていないこともあるので、自分がどう動くべきか考えていきたいです。また、ミドルリーダーの意識をもち、若手とベテランをつなぎ、伝える役割をしっかりと担っていききたいです。そして、自分自身を高めていながら、チームとしても成長していきたいです。

初任者研修

夏の初任者研修は、ライフパーク倉敷や水島愛あいサロンを会場に、小学校・中学校の先生が合同で実施しました。「立ち止まって、じっくり考える」2日間となりました。

講義・演習「国際教育」

【研修のキーワード】異文化理解、SDGs、多様性の尊重、ESD、前提を見直す
思い込み、公平、平等、知ろうとすること、違い、国際理解

<受講者の感想より>

日本人として当たり前だと思っていることが、世界的に見て当たり前ではないことを知りました。今の子どもたちが大人になる頃にはさらにグローバル化が進み、外国の方との関わりが増えてくる中で、早い段階からそのようなことを知ったり気付いたりしてほしいと思いました。



講義・演習「防災教育」

【研修のキーワード】わがこと意識、マイ・タイムライン
ハザードマップ、自助・共助・公助、危険の予測

<受講者の感想より>

今回の話を聞いて、学校のある地域のハザードマップを確認し、その場に応じた対応力を付けることが必要だと感じました。また、避難場所と避難所の違いを学び、子どもたちや保護者のためにも自分が正しく理解して伝えることが大切だと思いました。



講義・演習「仲間づくりの指導」

【研修のキーワード】アイスブレイク、協調性
可視化、体験活動サイクル、振り返り

<受講者の感想より>

研修の中で、協力するために必要なことを考えてみましたが、思った以上に時間がかかりました。当たり前のことがなかなか言語化できないことに驚きました。言葉で伝えることは大切ですが、教師が行動で示すことも協力につながると感じました。「グループで協力することは楽しい！」と子どもたちから引き出せるようなクラスづくりをしたいと思います。



幼児教育研修

7月下旬に、ライフパーク倉敷で次の3つの研修を実施しました。

<幼稚園長研修>

講義・グループ協議
「幼児教育と小学校教育との接続」

<受講者の感想より>

幼児教育、特に非認知能力の育成について幼稚園側からも発信して、小学校とも共有したいです。幼稚園と小学校の「架け橋期」がその後の人生に大きく関わっていることを再認識できました。



<幼稚園副園長・代表教諭研修>

講義・グループ協議
「主任・代表教諭に求められるもの」

<受講者の感想より>

改めて自分の役割を考えるよい機会となりました。いろいろな面で調整する役割を果たせるように、園のことや同僚のことを自分のこととして考えられる自分でありたいと思いました。



<幼稚園教諭・助教諭研修>

講義・グループ協議
「遊びの充実と幼児理解を考える」

<受講者の感想より>

「楽しい」「もっとやってみたい」と思っているときこそ諸能力が発達する、「楽しい」と思っているときこそ心身が解放できるというお話が印象的でした。幼児理解を深めて、子どもと一緒にわくわく遊びたいです。



新任教務主任研修

【研修のキーワード】教務主任の職務、教育課程の編成
学校組織マネジメント

小・中学校の新任の教務主任を対象に、全市的な視野に立ったリーダーとしての力量を高め、教育課程の編成・運用についての知識・能力等を習得することを目的に行っています。

＜受講者の感想より＞

- 一年間の見通しがもててよかったです。「見えないファインプレー」をしていきたいです。「教務主任だからできること」を常に考え、先生方の業務削減につなげたいと思いました。
- 「I（アイ）を伸ばし、We（ウィー）を育てる」教育が、現場が抱える様々な教育課題への対応につながっていると感じました。
- 子どもを中心に据え、保護者・教職員全員の幸せの最大化を目指し、学校運営に積極的に関わっていききたいです。



学校事務職員研修

【研修のキーワード】「チーム学校」、「働き方改革」
専門職としての事務職員、コミュニケーション
生徒指導提要

小・中・特別支援学校の学校事務職員を対象に、学校事務職員として必要とされる知識・能力等を習得し、学校における事務体制の一層の充実を図ることを目的に行っています。

＜受講者の感想より＞

- 講師の先生のお話は、いつもながら分かりやすく、事務職員の基本に立ち返る気持ちにさせていただけの内容でした。
- 授業の内容について尋ねるなど、何となく踏み込んではいけなような気持ちがどこかにありましたが、「いいんだよ、もっと関わっていきよう」と、背中を押されたような気がしました。
- 事務職員が生徒指導に関わることの大切さについて教えていただき、ありがたかったです。



教育のユニバーサルデザイン研修

市内学校園の希望者を対象に、全ての子どもの実態に応じた授業づくり・学級づくりに関する理解を深め、子どもの立場に立った指導力の向上を図ることを目的とした研修として、全5回で実施しています。

【研修のキーワード】授業のユニバーサルデザイン
焦点化、視覚化、共有化（交流→共有へ）

＜第1回・遠隔研修＞

全ての子どもが「わかる・できる」授業づくりの基礎知識を身に付けるとともに、学ぶ側の立場に立った指導力の向上を図ることを目的に実施しました。

＜受講者の感想より＞

- 「学びのつまずきのある子どもがいるときに、まず環境を整える」「授業の中で子どもたちの『～したい』を増やす」ということがとても印象に残りました。それが、子どもたちにとって良い結果となり、自己肯定感の向上にもつながっていくのだと思いました。
- 具体例を紹介してくださりながらの分かりやすい講義で、すぐにでも取り入れられそうなのが多く大変勉強になりました。教えたことと今の生徒たちができていることをしっかりと絞り込んでいきたいと思いました。



【研修のキーワード】インクルーシブ教育
「やさしいどうして？」のまなざし

＜第2回＞

全ての授業における特別支援教育の視点を取り入れた教育活動についての理解を深め、全ての子どもが共に学ぶ仕組みを、組織的・計画的に進めるための資質・能力の向上を図ることを目的に実施しました。

＜受講者の感想より＞

- 毎日学校現場で直接多くの生徒と接しながら、一人一人が安心していられる場所を作るために、子どもの言動の背景要因を探り、集団へのアプローチと個別のアプローチのバランスがとても大切なのだと学びました。他の学校の先生との話合いの中で、様々な事例を聞き、対応の難しさを考えさせられたと同時に、学んだことを生かしていけたらと思いました。



☆☆ 水島教室 ☆☆

☆ 和気あいあいとした
ゆったりした雰囲気です...

倉敷ふれあい教室水島教室は、ライフパーク倉敷内にある倉敷教育センター事務室の隣にあります。福田公園の近くにあることから、公園の散策をしたり、ニュースポーツの用具を借りてきて楽しんだりすることもあります。施設内は空調も完備されており、過ごしやすく、恵まれた環境の中で活動することができています。教室目標は「一歩」です。日々一歩ずつ前向きに進んでほしいという思いをこめて教室に掲げています。



【種松山ハイキング】

「なかよし活動」では、様々な活動に取り組んでいます。創作活動は、手芸・工作・アート作品作りなどをします。科学センターの先生に、科学工作を教えていただくこともあります。スポーツは研修室での卓球、大ホールでのソフトバレーボールやバドミントンなどで汗を流しています。ボランティア活動としてライフパーク倉敷周辺のごみ拾いをすることもあります。夏野菜や花を育てる栽培活動、シャボン玉、昔遊び、室内ゲーム、ギターなど、初めてのことにチャレンジして



【幼稚園交流】

楽しく活動しています。春のハイキングでは種松山まで歩いて行き、アスレチックをしました。近くの幼稚園との交流で、小さな子たちとのふれあいもしています。「スタディ」の時間には、各自の学習課題に自分のペースで取り組んでいます。自分の決めたペースで登室してなかよく活動し、笑い声の絶えないゆったりした雰囲気の教室です。

☆☆ 児島教室 ☆☆

☆ 友だち作り ☆ 体力作り ☆ 野菜作り
☆ 楽しく元気に活動

倉敷ふれあい教室児島教室は、児島駅から西へ約1キロのところにあります。ここは以前幼稚園だったため、教室・体育室・図書室・調理室・運動場など充実した設備を備えています。周辺には児島図書館や児島公園があり、少し足を伸ばせば海を見に行くこともできます。

通室日は月曜日から金曜日、午前9時30分から午後3時までです。（水・木曜日は午後1時まで）主な活動として「なかよし活動」と「スタディ」があります。「なかよし活動」では、スポーツ・創作活動・調理実習・栽培活動などに取り組んでいます。5月には防災学習をし、耐熱ビニール袋を使って炊飯をしたり防災クイズをしたりしました。「スタディ」の時間は、各自で課題を準備し自分のペースで学習をしています。

そのほかに図書館訪問や散策などで教室外に出かけることもあります。ゆっくりと散策をすると、普段は気づかなかった植物の美しさや地域の文化に触れることができます。

豊かな自然の中で木々や鳥の声に癒され、みんなで楽しく伸び伸びと過ごしています。



【調理実習】



【防災学習】



【英語学習】



【スタディ】